商品名：2台セット　高性能特定小電力トランシーバー
型　番：EB-XS900TS

取扱説明書　保証書添付

この度は本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

●本機の性能を十分に発揮させると共に、長期間支障なくお使い頂くために、ご使用前にお読みください。お読みになった後は、保証書付ですので大切に保管し、必要に応じてご利用ください。保証書に、「お買い上げ日、販売店名」などの記入があるかを必ずお確かめください。

※本書で使用しているイラストは実物と多少異なる場合がございます。

●もくじ ●安全上のご注意 ●使用上のご注意 ●本体各部の名称	はじめに
●使用する前に ●基本操作 ●各種設定・機能	使い方
●故障かな？と思ったら	困った時
●製品仕様	製品仕様
●保証条件の内容 ●保証書/サポート情報	保証書 サポート

もくじ

■はじめに

もくじ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2-4
使用上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
本体各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

■使い方

使用する前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7-8
基本操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9-11
各種設定・機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12-16

■困った時

故障かな？と思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

■製品仕様

製品仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

■保証書・サポート

保証条件の内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
保証書/サポート情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

■安全上のご注意　【必ずお読みください】

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになったあとはいつでも見られる所に必ず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取扱い方を絵表示しています。内容をよくご理解頂きましてお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して間違った使い方をすると、死亡や大けがを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

禁止の行為であることを告げるものです。

行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

⚠ 警告

自動車やバイク、自転車などの運転中には使用しないこと。
事故の原因になります。
運転者が使用する時には、車を安全な場所に止めてからご使用ください。

航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”では使用しないこと。
電子機器や医療機器に悪い影響を与える恐れがあります。

本体を分解や改造をしないこと。
機器が故障し、感電やけがの原因になるほか、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

雷が鳴ったら、屋外で使わないこと。
落雷の恐れがあります。使用している時は、すぐに本機から離れてください。

水や海水などにつけたり、漏れた手で触らないこと。
故障・感電の原因になります。

アンテナを持って、本機を振り回したり投げたりしないこと。
けが・故障の原因になります。

強い衝撃を加えたり、投げつけたりしないこと。
故障の原因になります。

磁気を帯びたものを近づけないこと。
スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。

使用中に煙が出た場合、すぐに使用をやめて電池を外してください。

長時間使用しない時は、電池を本体から外して保管してください。

安全上のご注意

⚠ 注意

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに放置しないこと。
変形や変色等の原因になります。
夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

音量を上げすぎないこと。
イヤホンを使用する時は音量を大きくしないこと。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて通話すると、聴力の悪い影響を与えることがあります。

小さなお子様の手の届かない場所に保管すること。
けがなどの原因になります。

乾電池について

※電池の誤った使い方は、液漏れや破裂の原因になります。
次の点にご注意ください。

- 電池の「＋、－」は正しい方向で入れてください。
- 使用済みの電池や有効期限切れの電池は使用しないでください。
- 長時間ご使用にならない場合は、電池を本体から取り出してください。
- 電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。
- 液漏れが生じた場合は、漏れた液を拭いて、新しい電池と交換してください。
- 種類の違う電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。

使用上のご注意

電波法に関する注意

下記の内容は電波法により禁止されています。
本機を分解、改造しての不正使用。
他人の通話を聞いてこれを人に漏らす行為。
航空機など使用を認められていないところでの使用。

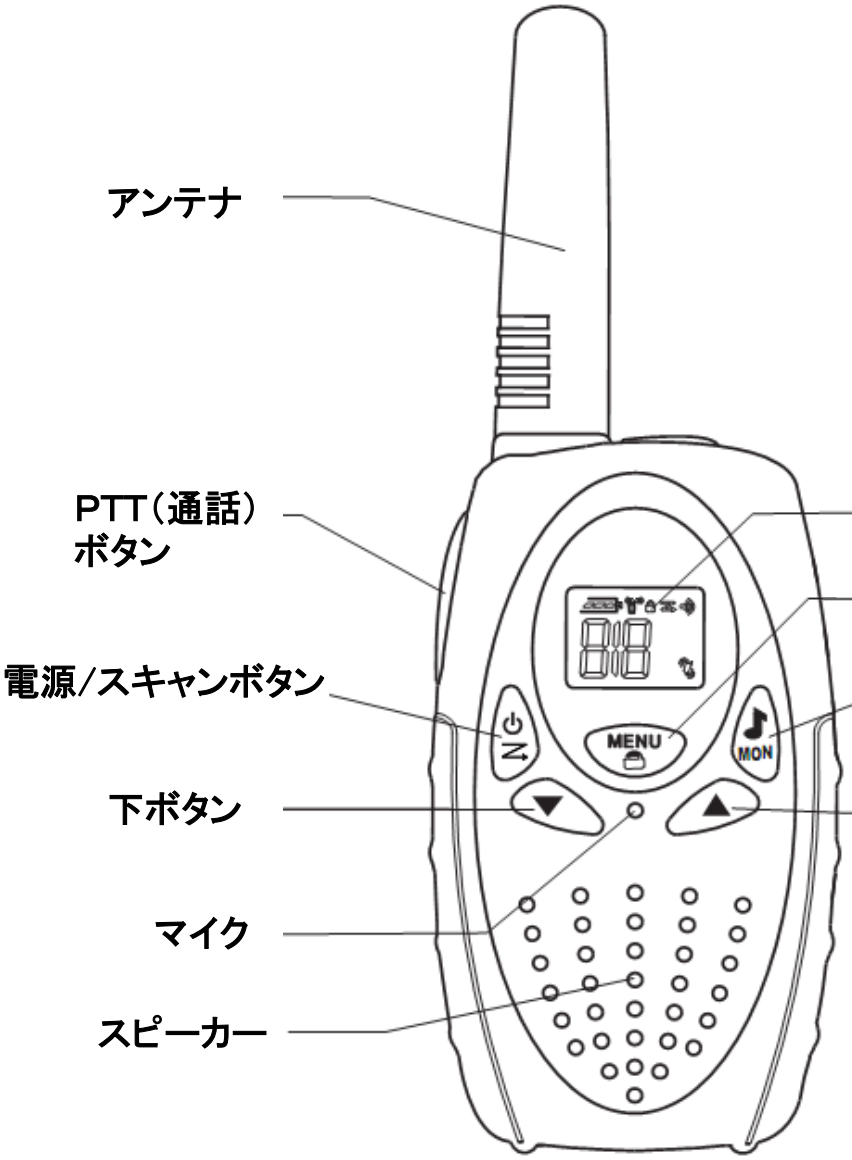
使用上のご注意

- 本機は防水構造になっておりません。雨の日や、水がかかるようなところでの使用は、本体が濡れないように注意して使用してください。
  テレビ・ラジオ・パソコン・蛍光灯のすぐそばでは、電波障害を与えたり、受けたりすることがありますので、これらのものから離れて使用してください。

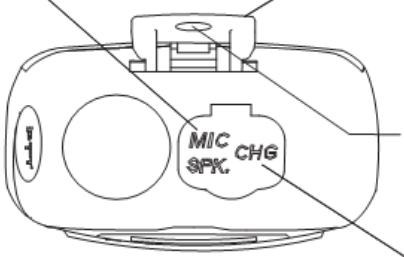
- 本機は、特定小電力トランシーバー、9ch.機、11ch.機、20ch.機のトランシーバーと通話することが可能です。現在お持ちのトランシーバーがグループモードが無いトランシーバーにおいては、本機のグループモードはオフに設定してご使用ください。（本機のディスプレイ表記が【OF】となっております。）

- 通話できる距離は、環境により大きく変わります。目安としまして、障外物の少ない郊外で1～2km、市街地で100～200mです。建物などの障害物により通話距離が大きく左右します。

本体各部の名称



本体上部



ベルトクリップ

外部スピーカー/
マイクロホン接続端子
（ゴムキャップ付け）

ストラップ取り付け穴
※ストラップは付属しておりません。

電源端子
※ACアダプターは付属して
おりません。

■本体に乾電池をセットする

アルカリ電池3本を入れます。

電池の挿入・交換はベルトクリップを外した状態で行ってください。

①ツメ部を上に持ち上げながら、
ベルトクリップをアンテナ側に
引き外します。

②電池フタツメ部を矢印方向に
押しながら持ち上げて、電池
フタを開けます。

③別売りの単3乾電池3本を
『+/−』正しい方向で入れて
ください。

④電池フタを閉めて、ベルトクリップ
を取り付けてご使用ください。
ベルトクリップを取り付ける際は
本体のガイドに合わせベルト
クリップを取り付けます。
下部にスライドさせ「カチッ」と音が
したらロックされます。

※本体に電池を入れると、自動的に電源がオンになります。

使用する前に

電源の入れ方

1、電源ボタンを3秒以上長押しして、電源を入れます。

2、電源を切るときは、電源ボタンを3秒以上長押ししてください。

電池残量の表示

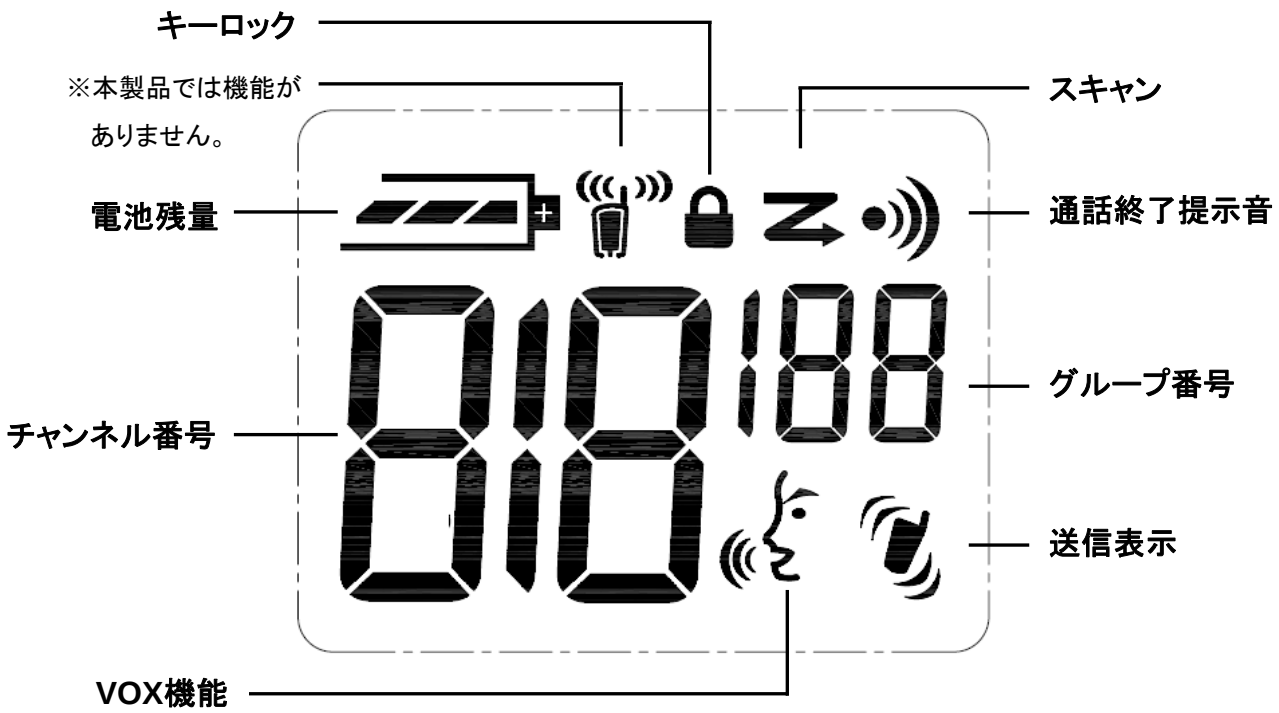
ディスプレイに電池残量のアイコンがあります。

フル　半分　やや不足　不足

※電池残量が不足すると、電池アイコンが点滅し、ビービーという警告音が鳴らします、お早めに新しい電池と交換してください。

使い方

ディスプレイの表記内容



※ディスプレイに表記される内容は設定により変わります。

基本操作

チャンネルを選ぶ

1、メニューボタンを1回押して、ディスプレイにチャンネル表示数字が点滅します。上下ボタンで1～20ch.の希望のチャンネルを選択してください。

2、通話したい相手と同じチャンネルに合わせてください。

PTT（通話）ボタンを押すと、表示しているチャンネルが決定されます。

使い方

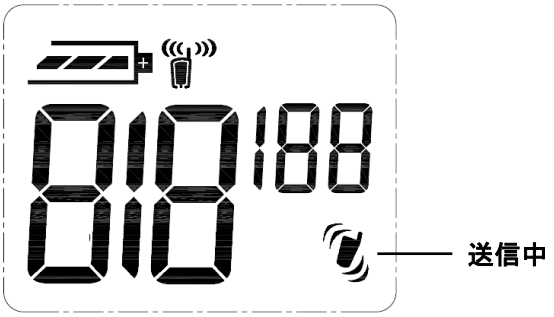
送信のしかた

相手と同じチャンネルに番号を合わせて、送信・受信を交互に切り換えながら通話できます。まず、2台で通話テストを行ってください。

1、送信する場合には、PTT（通話）ボタンを押し続けて、

マイクスピーカー部分から5cmくらい離して通話してください。

2、PTT（通話）ボタンから手を離すと受信・待受信状態になります。



※信号受信中PTT（通話）ボタンを押しても、「ピー音」が鳴り、送信できません。

基本操作

音量の調整

上下ボタンで音量を調整し、PTT（通話）ボタンを押して決定します。

グループモード機能

同じチャンネルを他のグループと同時に使用する場合、他のグループの通話が聞こえますが、グループモードを使用することにより、同じグループだけで通話をすることができます。

1、メニューボタンを2回押すと、グループ番号が点滅されます。

2、上下ボタンでチャンネル番号のグループを選択してください。

グループ調整できる範囲：00～121

【00】はグループモードを使用しない状態です。

3、PTT（通話）ボタンを押すと、表示しているチャンネルが決定されます。

※グループ番号を設定すると、チャンネルとグループ番号が同じ仲間の声だけが聞こえます。

付属品の耳かけ式イヤホンマイクを使用する場合

1、付属品の耳かけ式イヤホンマイクを本体のマイクロホン接続端子と接続してください。

マイクロホン接続端子は本体上部のゴムキャップに保護されています。

イヤホンマイク（付属品）

②送信するには本体のPTT（通話）ボタンを押さずに、イヤホンマイクのマイクボタンを押し続けると送信状態になり、手をマイクボタンから離すと受信・待受信状態になります。

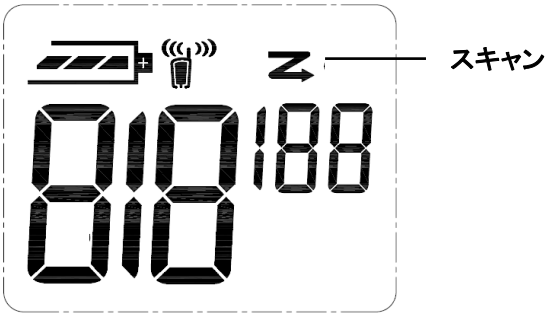
※注意

イヤホンを使用する時は音量を大きくしないでください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて通話すると、聴力に悪い影響を与えることがあります。

チャンネルスキャン

本機は通話をしているチャンネルを自動的に探すことができます。

1、電源ボタンを押すと、チャンネルを自動的にスキャンします。
　受信したチャンネルで自動的に止まります。



2、受信信号がなくなると再度スキャンを始めます。

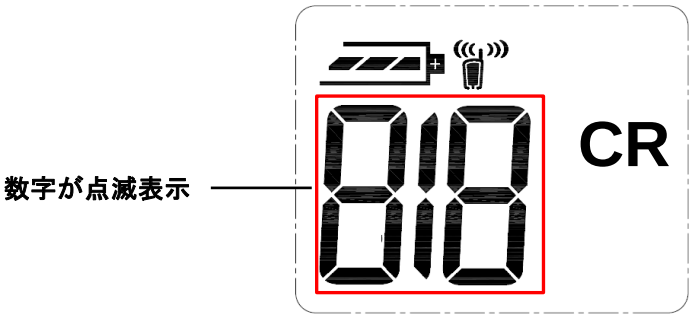
3、スキャン中PTT（通話）ボタンまたは電源ボタンを押すと、表示しているチャンネルが決定されます。

相手を電子音で呼び出したい時（コール機能）

通話する前にコールボタンを押すと電子音で相手に知らせます。

電子音を設定する

1、メニューボタンを3回押すと、電子音を設定画面に入ります。



2、上下ボタンでお好みの電子音を選択して、PTT（通話）ボタンで決定します。
【0】は消音となります。（10種類の電子音が選択可能です。）

VOX機能

PTT（通話）ボタンを押さずにマイクに話すだけで、自動的に送信することができます。話が終わると受信・待受信状態に戻ります。

1、メニューボタンを4回押すと、音の感度を設定する画面が表示されます。

2、上下ボタンで1～3の音の感度を調整し、PTT（通話）ボタンで決定します。

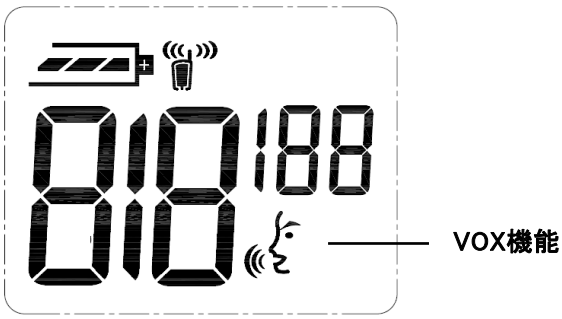
1～3は音声に対するマイクの感度を3段階で調整できます。

1＝低感度

2＝中感度

3＝高感度

3、感度を設定した後、電源ボタンを長押しして電源を切り、PTT（通話）ボタンを押したまま再度電源ボタンを長押しすると電源オンになり、VOX機能もオンになります。画面下にVOX機能マークが表示されます。



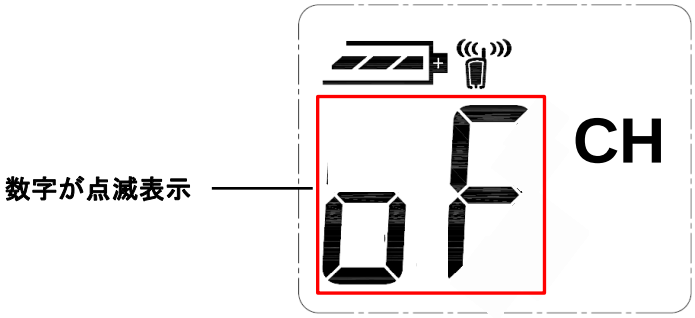
4、PTT（通話）ボタンを押すと、VOX機能がオフになります。

※注意

通話を始めても送信するまでに多少時間がかかるため、音声の始めが途切れる場合があります。

ダブルチャンネル受信する

1、現在のメインチャンネル以外、もう1つのサブチャンネルを受信したい場合はメニューボタンを5回押すと、ダブルチャンネル設定画面が表示されます。



2、上下ボタンでサブチャンネルを選択し、PTT（通話）ボタンで決定します。

【OF】表記がされるとダブルチャンネル受信機能をオフにします。
（本機のディスプレイ表記が【OF】となっております。）

3、ダブルチャンネルを設定した後、ディスプレイに2つチャンネルが交互に表示され、1秒ごとに交互に受信されます。

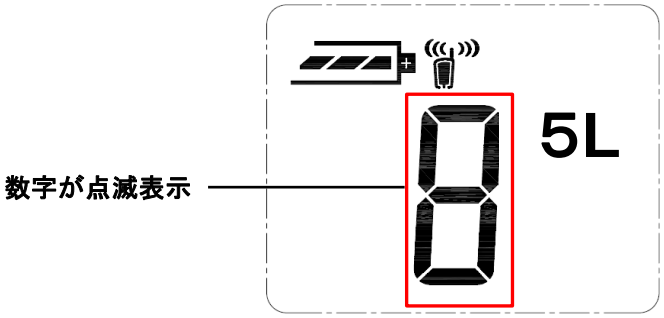
※注意

・ダブルチャンネル受信機能をオンにする時、送信したい場合はダブルチャンネル機能をオフにし、通信したいチャンネル・グループに合わせてからPTT（通話）ボタンを押して送信してください。
・メインチャンネルを変更する場合はメニューボタンを1回押して、上下ボタンでメインチャンネルを変更してください。
サブチャンネルを変更する場合は、メニューボタンを5回押して、ダブルチャンネル設定画面で変更してください。
・グループを変更したい場合は、変更したいチャンネルを表示している間にメニューボタンを2回押し上下ボタンで変更して、PTTボタンで決定します。

SQL（スケルチ）調整

待受け状態で雑音が多い場合に、雑音を抑制調整します。
待受け状態で雑音が出ない範囲で小さい数を入力すると、より遠くの相手と通話ができます。

1、メニューボタンを6回押すと、スケルチの設定画面が表示されます。

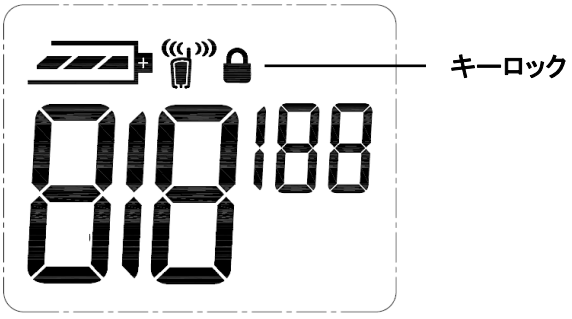


2、上下ボタンで1～6の中から選択します。
3、PTT（通話）ボタンを押すと、表示している番号が設定されます。
そのままの状態でも10秒後に設定されます。

キーロック機能

使用中に誤った操作をしても動作しないように設定します。

1、メニューボタンを4秒以上長押しするとキーロック表示が出て、PTT（通話）ボタン、コールボタン以外の操作は無効になります。



2、キーロックを解除するときは、再度メニューボタンを4秒以上長押ししてください。ディスプレイにキーロック表示が消えます。

操作音の設定

- **操作音を消すには、**
  電源が切れた状態で、下ボタンを押したまま電源ボタンを長押しして電源をオンにします。操作音が消されます。
- **操作音を鳴らすには、**
  電源が切れた状態で、下ボタンを押したまま電源ボタンを長押しして電源をオンにします。操作音を鳴らします。

初期設定に戻す

動作が不安定な状態や誤動作を起こした時、ディスプレイの表示に異常が生じた時にお買い上げ時の状態に設定を戻します。

※初期設定に戻すと、お客様が設定した内容は全て消去されますので、ご注意ください。

1、電源を切ります。

2、メニューボタンを押したまま電源ボタンを長押しします。
一瞬ディスプレイに全ての表示が出て、すぐに通常画面に戻ります。

3、初期設定に戻ります。

故障かな？と思ったら

故障かな。と思った時は、下記の項目をもう一度チェックしてください。
また、一度使用を中止し、再度起動してみてください。
それでも正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談いただくか、弊社サポートセンターにご連絡ください。
（各項目の詳細は、この説明書の対応する項目をお読みください）

症状	考えられる原因・確認事項
電源が入らない	・電池が消耗していませんか。 新しい電池と交換してください。 ・電池の入れ方が違っていませんか。 +・−を確認して正しく入れてください。
通話できない	・チャンネルまたはグループ番号が違いませんか。 チャンネル・グループ番号を合わせてください。 ・距離が遠すぎませんか。 通話可能な距離で使用してください。
キーを押しても動作しない	キーロックがかかっていませんか。 キーロックを解除してください。
聞き取れない音が入る	同じチャンネルで違うグループ番号で使用していませんか。 グループ番号を合わせてください。
受信できない	PTT（通話）ボタンを押した状態ではありませんか。 PTT（通話）ボタンから手を離してください。

製品仕様

型番	EB-XS900TS
商品名	２台セット　高性能特定小電力トランシーバー
本体サイズ	約53（W）×160（H）×32（D)mm
商品重量	約100g（１台）
周波数範囲	422.050～422.300MHz
電波形式	F3E
連続使用時間	約36時間 ※再生時間は環境および乾電池により異なります。
電源	単三形アルカリ乾電池３本
スピーカー出力	200mW
消費電流	送信時：12mA/受信時：180mA
受信感度	13dBμ以下
使用環境温度範囲	約-5～45度
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
送信出力	10mW
付属品	取扱説明書、耳掛け式イヤホンマイク×2

※仕様は製品の改善・品質向上のため予告無く変更される場合があります。

保証条件の内容

保証期間は、お買い上げの日から6ヶ月（本体）です。※付属品は除きます。

保証期間内でも以下の場合は有料修理となります。ご確認ください。

●下記の事項

1、誤った使用・不当な修理・改造・分解で生じた故障または損傷。

2、お買い上げ後の落下・故意による破損・輸送等で生じた故障または損傷。

3、火災・天災地変・塩害・異常電圧・指定外電圧使用等での生じた故障または損傷。

4、本書の提示がない場合。

5、本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入がない場合。

6、一般家庭用以外（業務用等）、または異常な連続使用による故障または損傷。

7、使用時に起きた傷・色あせ・汚れ・または保管の不備で起きた損傷。

8、付属品と消耗品の交換。

●本書（保証書）は日本国内において有効です。

※保証期間中でも保証書のご提示が無い場合、有償修理となる場合があります。
※弊社出張修理サービス等は行っておりません。修理・点検ご希望の際は
カスタマーサポートへご相談ください。